



せとやこども園だより



ホームページ

園の目標 元気な子・考える子・自立する子



めぐみ

夏の恵を味わう



とうもろこし狩り



7月3日(水)

自分の背丈よりも高いとうもろこし畑はまるで迷路のよう。畑の中をあちこち歩き回るだけでも楽しいようで子ども達の歓声がずっと畑中に響いていました。

森谷農園さん、山田農園さんのご厚意を頂戴し、今年も年中・年長組がとうもろこし狩りとブルーベリー狩りを体験しました。どちらも用意した袋からはちきれそうになるほどたくさん獲らせてもらった子ども達。笑顔もはじける一日になりました。

ブルーベリー狩り



7月10日(水)



ブルーベリー畑のある藤太夫島まではコミュニティバスで往復



7月2日(火)

花火をするときは「水バケツを用意して」「花火は人に向けず」「大人と一緒に」の3つを守るよう志太消防本部の隊員さんから教わりました。

花火教室



幼児部は、全員が一人ずつ自分で花火をつけて、最後に水バケツで火を消すまでを体験。花火教室の最後には、乳児部の子ども達も合流して、タンク車の迫力満点のウォーターカーテンと一緒に楽しみました。

園の目標 元気な子・考える子・自立する子

ふじ組 お楽しみ会の日

川遊び→やまめつかみどり→流しそうめん→お買い物→宝探し
→お化け屋敷→花火… いつもとちがうことに次々と挑戦！



流れによってイイ気分だあ



捕まえたヤマメの塩焼きにかぶりつく。

7月19日(金)



わたしのおそーめん、まだ？



お化けが追ってくる！逃げて！

毎年恒例の川遊びやお化け屋敷の他に、地域のご協力をいただきヤマメのつかみ取りや流しそうめんを行いました。

ふじ組のお楽しみ会は、コロナ禍前は「お泊り保育」として年長児クラスで実施していた行事の流れをくむものです。一日の中で取り組む活動は、子ども達自身が「やってみたい！」と案を出し、それを保育者がサポートし形にします。普段の保育よりも長い時間を子ども同士で過ごすことで、自立心や仲間意識の高まりを期待して行っています。

短冊に願いをこめて



7月5日(金)

七夕集会



七夕集会。保育士による手袋シアターとともに「たなばた」を歌う乳児。幼児は、羽衣伝説に関わる紙芝居を見たり七夕の歌を歌ったりしました。子ども達や親の願いが記された短冊が七月の風にさらさらと揺れる七夕飾り。そのうち四枚を紹介いたします。

保護者面談 7/22、24、29



園では、毎日の送迎時はたとえ短い時間であっても、子どもの様子について、直接言葉を交わすことを大事にしています。しかし、朝や帰りの慌ただしい中では、お一人ずつ話せないことの方がむしろ多いかもしれません。7月末の面談は、全員を対象に実施しています。ご家庭や園でのお様の様子を話し合うと、それぞれの子どもの新たな一面を保護者と学級担任とで気づき合うことがあり、大変有意義な時間となっています。

ぱおのおしごとがはやくおわりはやくかえってきますように

ママといっしょにいたりゲームがしたい

おともだちやせんせいとすげえなにかよくすごせますように

けいさつかになれますように